

9月は勉強会の様子を紹介しまーす！！♪

今回は H23 年 8 月度の OT&ST 勉強会の様子を紹介します。

勉強会は毎月一回、担当を決めて開催しています。他職種も勉強会に参加することができます。

ST 勉強会

ST 勉強会 8 月のテーマは「失読・失書～症例と文献紹介～」です。

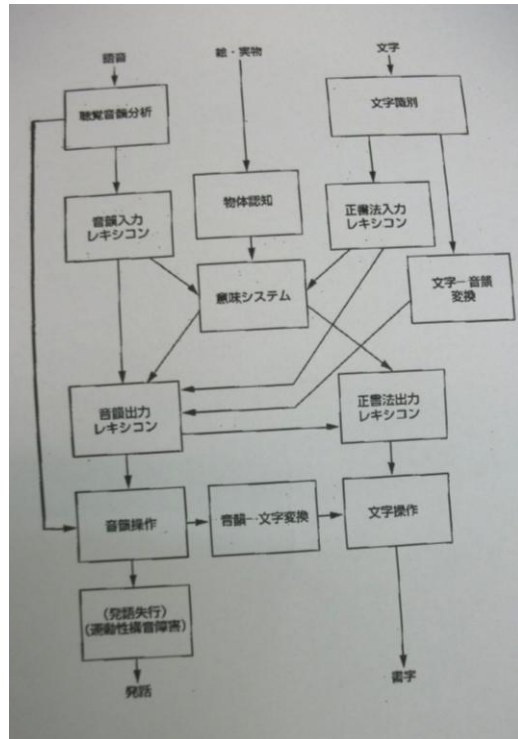
失読・失書について機能解剖を学習し、症例を通して実際の問題点について学びました。伝導経路や機能局在を学ぶことで、どの部位を損傷するとどのような障害が出現するのかを勉強しました。また、実際の失読・失書を呈する症例のプログラムや目標などの検討・検証作業も行いました。筆者（PT）は失読・失書について詳しく勉強する機会が少ないため、知識の幅を増やすいい機会でした（^U^）v♪

以下は、勉強会風景です。

質問タイム～♪



☆勉強会の資料の一部です☆



脳の機能局在、経路を理解しよう☆

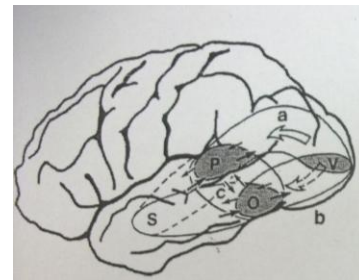


図1 神経機能解剖に基づく読みの認知モデル
 櫻井 2002より医学書院の許可を得て転載、一部改変
 a:音韻経路, b:形態経路, c:音韻情報と形態情報
 の相互作用, V:一次視覚野, P:音韻情報, O:形
 態情報, S:意味情報。

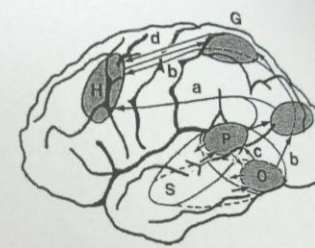


図2 神経機能解剖に基づく書き取りの認知
 (Sakuraiら 2007よりIOS Pressの許可を得て
 一部改変)
 a:音韻経路, b:形態経路, c:Wernicke
 頭皮質との相互作用, d:運動覚領域と手の
 相互作用, P:音韻情報, O:形態情報, S
 報, AG:角回, G:運動覚領域, H:運動
 の領域。

OT 勉強会

OT 勉強会 8月のテーマは「視覚・身体認知のメカニズムとその障害」です。

視覚・身体認知のメカニズムについて概念的な理解、また解剖等の基礎的知識を学習しました。さらにそれらを発展させて失行についても学習しました。とても難しい話で、正直、筆者（PT）は半分程度しか理解できませんでした。（笑）（T_T）

以下は勉強会の風景です。

☆勉強会の様子☆



発表者

☆勉強会終了後の発表者の様子☆



発表者「ふう〜・・・」

☆勉強会の中で出てきた興味深い内容を一つ…

「他人にくすぐられるとくすぐりたいが、自分でくすぐってもあまりくすぐったくない理由」

⇒自分でくすぐると、どのくらいの強さで、どんなタッチでくすぐるか無意識に予測ができ、予測を元に体性感覚野への抑制信号が送られる。その結果、体性感覚野への情報が抑制されあまりくすぐったく感じない。一方、他人にくすぐられる場合はその予測が出来ないためくすぐったく感じる。

以上、9月はOT・ST勉強会を紹介しました～！

日々勉強し成長するリハビリテーション課です☆